

平成 22 年度「富県宮城グランプリ」表彰について

1 趣旨

昨年度に引き続き、本県産業の発展と地域経済の活性化への貢献が顕著な企業・団体等を表彰し、「富県宮城の実現」に向けた機運醸成を図るとともに、「富県共創」の理念に沿って、企業及び県民各層の主体的な取組を促進する。

2 表彰の区分と対象

(1) 表彰区分：「企業」「個人」「団体」の 3 部門とする。

(2) 表彰対象

- ① 県内に事業所等の活動拠点を有し 3 年以上の活動実績がある企業、個人及び団体
- ② 本県産業の発展と地域経済の活性化に対する貢献が顕著
- ③ その貢献が県民に相当程度認知

3 スケジュール

- | | | |
|---------|------|------------------------------|
| 平成 22 年 | 9 月 | ・ 富県宮城推進会議構成団体に対して、県から依頼文書発送 |
| | 10 月 | ・ 募集開始（応募は、団体、市町村の推薦を要する） |
| | 12 月 | ・ 募集締切 |
| 平成 23 年 | 2 月 | ・ 第 3 回富県宮城推進会議幹事会で意見交換 |
| | 3 月 | ・ 最終選考（知事）を経て表彰 |

4 富県宮城推進会議構成団体への協力依頼

- ・ 募集の構成会員等への周知
- ・ 表彰候補者の推薦

平成 21 年度「富県宮城グランプリ」受賞者名簿

(敬称略)

部門	受賞者	表彰理由	推薦機関
富県宮城グランプリ			
企業	岩機 ^{いわき} ダイカスト工業株式会社	高い技術と信頼を有し、東北の企業で初めてトヨタ自動車東北(株)に量産部品を納入するなど、取引を目指す地元自動車関連企業の先導的存在として、取引拡大への機運醸成に大きく寄与するとともに、地域の雇用創出への貢献等も顕著である。	亘理山元 商工会
個人	大沼 ^{おおぬま} 眞治 ^{まさはる}	宮城県観光誘致協議会会長としてリーダーシップを発揮し、県単独初のdestinationキャンペーン(DC)誘致に取り組み、平成 20 年度開催の「仙台・宮城 DC」実現や今年度の「仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン」開催に尽力するなど、本県観光振興への貢献が顕著である。	社団法人 宮城県観 光連盟
団体	「くりはら直売館 ^{ちよくばいかん} よさこい」 グループ (株式会社ダイチ, 有限会社パ レット, 有限会社もちっ小屋 ^{こゝろ} でん, 有限会 社郷 ^{きょう} 志 ^{しん} , 有限会社あびす)	国の農商工連携事業に認定された企業 2 社を含む栗原地域の食関連 5 社が連携し、直売施設の開設など、地元の食の魅力を市内外に広く発信し、地域の食産業や観光振興、経済活性化への貢献が顕著である。	栗原市
団体	「志津川 ^{しづがわ} おさかな通り ^{どお} 大漁市 ^{たいりょういち} 」 実行委員会	海産物関連 8 店の集積区域を「志津川おさかな通り」と命名し、「大漁市」等のイベント開催、旅行会社と連携したバスツアー客の受入れ、中学生への販売体験学習機会の提供など、地域の観光・商業振興と水産業振興、さらには人材育成などへの貢献が顕著である。	南三陸町
富県宮城グランプリ特別賞			
企業	株式会社ヤマニシ	創業以来、顧客ニーズに即した高い技術力で国内外に顧客を有し、客船のほか、歴史的意義のある復元船建造を手掛けるなど、東北有数の造船所であるとともに、近年取引の向上が顕著であり、県内企業の受注や雇用創出にも貢献している。	石巻商工 会議所
個人	安部 ^{あべ} 隆雄 ^{たかお}	県内製造業企業 OB であり、県内の精密加工分野の第一人者として、高校生・教員への技術指導に尽力し、国家試験の技能検定機械加工(旋盤)部門で多くの合格者を輩出するなど、産業人材育成に多大な貢献をしている。	宮城県高 等学校工 業教育研 究会
団体	宮城県石巻工業高等学校建築科	地元自治体からの依頼により、生徒が公共施設(保育所)の基本設計に携わったほか、小学生へのプランターづくりの木工指導など、地域と連携した実践教育活動を推進し、産業人材の育成に貢献するとともに、地域の活性化にも寄与している。	石巻市

平成20年度「富県宮城グランプリ」受賞者名簿

(敬称略)

部門	受賞者	表彰理由	推薦機関
富県宮城グランプリ			
企業	加美電子工業株式会社 <small>かみでんしこうぎょう</small>	昭和45年に設立以来、着実な成長を遂げてきた企業であり、精力的な産学官連携により、革新的な塗装システムを開発、この技術はスプレー塗装業界における基盤技術として高く評価されている。	加美商工会
	引地精工株式会社 <small>ひきちせいこう</small>	優れた技術力・発想力により、製品の自社開発率が非常に高く、設計から製作までの一貫体制の中で、高い競争力を発揮している。さらに多様な分野への製品提供を通したリスク分散型の経営で、顕著な業績を挙げている。	岩沼市
個人	羽田祐一 <small>はねたゆういち</small>	みやぎ工業会の前会長として、本県産業経済の課題である製造業の振興に大きく貢献した。さらに富県宮城の実現にあたっては、建設的な施策提言のほか、関係団体への指導など、富県戦略全体の推進に大きく貢献した。	社団法人みやぎ工業会
団体	気仙沼漁業協同組合	水産資源の減少や燃油高騰等、水産業を取り巻く厳しい状況の中で、地域経済の中核をなす魚市場の活性化に向け、水揚作業の効率化など漁船誘致のための取組を積極的に展開し、近年、水揚金額が大幅に増加するなど顕著な実績を残している。	気仙沼市水産加工業振興協議会
富県宮城グランプリ特別賞			
企業	株式会社木の屋石巻水産 <small>きのや</small>	鯨食文化の伝承・普及や、金華さばの地域ブランド化など、鮮度と品質にこだわり、地域資源を活かした付加価値の高い商品づくりへの貢献が顕著である。	石巻市水産加工業協同組合
個人	後藤春雄 <small>ごとうはるお</small>	溶接技能の第1人者として県下に指導的役割を發揮し、本県ものづくりのレベルアップに長年貢献した。また、県内工業高校、高技専などの講師や、長期のインターンシップの受入など、ものづくりの人材育成に積極的に努めている。	宮城県高等学校工業教育研究会
団体	一迫商業高校地域活性化プロジェクトチーム	地元企業とのコラボレーションにより、地元産ひとめぼれを使った「米ていら」や「栗原ふれあい弁当」の商品開発・販売をするなど、地域資源を活かした取り組みを展開している。また、先の震災の復興に向けて、地域の観光DVDやガイドブックの作成・配布をとおして、地域の魅力発信に努めている。	栗原市
	宮城県大河原商業高等学校商業研究グループ	町木である「梅」に着目し、地元企業と一体となって、地元産の梅を材料とする「梅あめ(うめ輝らり)」の商品開発に取り組んだ。さらに、平成20年12月からは、東北6県で販売されるようになり、生徒自らも販売活動を実践している。	大河原町